

長崎県学ぶ保育士等応援事業

園内研修ガイドブック



令和8年7月

長崎県幼児教育センター

このガイドブックは、令和8年度の「長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金」の要件となっている研修に取り組んでいただくことを目的として、作成したものです。

これまで園内で実施されている研修全てをこの内容や手法に変えて実施することを求めているものではありません。

「長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金」は、以下の趣旨や目的で実施するものですので、この事業の補助金を受けようとする場合は、このガイドブックに沿って園内研修を実施していただくようお願いいたします。

【本事業の趣旨】

この事業は、幼児教育・保育の質の向上及び保育者の離職防止を図るため、園内研修を実施する施設の保育者に、一人当たり年間2万円の手当等を支給する事業です。

事業を検討した背景としては、保育施設では、保育者同士が語り合う場や時間的余裕がなく、ある意味、閉鎖的になりがちな保育環境が、昨今の不適切保育や保育中の事故などにもつながっている事が指摘されており、国においても75年ぶりとも言われる保育士の配置基準の改善が図られ、また、継続的な処遇改善が講じられているところです。

こうした状況の中、県としては本事業をきっかけに、普段から保育者の方々同士で子どもたちの育ちについて、対話が進む園環境となることを期待しています。

《語り合いの風土を根づかせることが保育の質の向上の第一歩》

すばらしい教育や保育を实践する園を見学すると、例外なく、保育者どうしが語り合う姿が見られます。誰かから指示されているのではなく、本人たちが「語りたくてしかたない」といった様子で、日々の実践や子どもの姿について、あちこちで言葉が飛び交っているのです。「こんな活動をしたら、すごく盛り上がった」「〇〇ちゃんが、こんな姿を見せてくれた」といった会話を通して、情報を共有したり、良いところを取り入れ合ったりして保育の質を高めています。改まった会議ではなく、子どもの様子を収めた写真を見ながら短時間気軽に語り合うだけでも、とても価値があります。

こうした語り合いの風土をつくることが保育の質を高める第一歩と言えるでしょう。

(「これからの幼児教育 2017 春号ベネッセ教育総合研究所」掲載、大豆生田氏Q&Aより)

も く じ

	ページ
1 補助の要件となる園内研修について	3
2 研修の進め方について	
(1) 県が別に定めるテーマ及び方法で実施する園内研修	4
(2) 幼児教育アドバイザーの派遣を受けて実施する 園内研修	19
(3) 県又は施設所在市町が実施し県が指定する園外研修 を受講した保育士等が、その内容を園内で伝達する ために保育士等に実施する研修	20
3 研修が終了したら	
(1) 研修実施報告書の作成	21
(2) 研修参加者個人アンケート	21
4 学ぶ保育士等応援事業補助金 園内研修関係 Q & A	22
5 関係様式集	
(1) 園内研修用 DVD 貸出申請フォーム	24
(2) 幼児教育アドバイザー訪問依頼書	25
(3) 研修参加者個人アンケートフォーム	26
6 関係手続き・様式ダウンロード先一覧	27

1 補助の要件となる園内研修について

「長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金」の交付の要件となる研修は以下のとおりです。
令和8年4月1日～令和9年3月31日までに、要件を満たす園内研修を実施した園が交付の対象となります。

【実施要綱第4条】

次の（１）から（３）のうち、いずれかの園内研修等に取り組む保育施設等を対象とする。なお、園内研修等の実施にあたっては、保育士等全員が参加可能な方法（※１）により、それぞれが主体的に考え、意見を出し合うワークショップ形式を取り入れた方式で実施すること。

（１）県が別に定めるテーマ及び内容で実施する園内研修

（２）幼児教育アドバイザー等の派遣を受けて実施する園内研修

（３）県又は施設所在市町が実施し、県が指定する園外研修を受講した保育士等がその内容を園内で保育士等に伝達するために実施する研修

（※１）保育士等全員が参加可能な方法とはどうすれば良いのですか？



実施例①

午睡時間等を利用し、職員を半数に分け同じ研修を2回実施する。

1回目に出された意見と2回目に出された意見については、互いに交換し合い共有する。

実施例②

参加できなかった職員に対し、実施した園内研修の内容（研修時に出された意見等も含めて）を録画するなどして共有し、意見交換テーマ（ワーク）に対する意見を園内研修参加者へも共有する。

2 研修の進め方について

(1) 県が別に定めるテーマ及び内容で実施する園内研修

(下のA～Dから選択)

- A DVD を活用した園内研修
- B 自園の保育についての事例カンファレンス
- C 特別支援教育の動画を活用した園内研修
- D 外国園児の受入れに関する動画を活用した園内研修

★各種研修ガイダンスやワークシート等は、県のホームページからダウンロードしてください。

長崎県学ぶ保育士等応援事業 URL (ダウンロードはこちら)

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kekkon-nishin-shusan-kosodate/kosodateshien/manabukensyu/>

★研修時間は70分～90分をめやすに設定してください。

A DVD を活用した園内研修

この研修は、2021年度文部科学省委託研究で作成されたDVD「明日の保育につなげるⅡ—動画を活用した研修の提案—」の中で、県幼児教育センターで選別した7つの動画（必須の講義動画とa～fの動画から一つを選択）を活用して行う園内研修です。

以下4点の内容を確認の上、取り組んでください。

- ・ 研修動画一覧（次頁）
- ・ ワークシート（研修動画6つともに共通）
- ・ 研修の進め方
- ・ DVD の借用方法

<研修動画一覧>

事例を通して、幼児理解を深めるための研修ができます。

a	「みんなでせんたくゴシゴシ」～遊びの広がりを支える幼児理解とは～ 3歳児
	3歳児が雨どいを使って水流しを楽しんでいるところに、4歳児が加わり、遊び場が崩れ始めます。そこで、保育者が環境の再構成をすることで、遊びが変化・発展していった事例です。 #環境の再構成 #水遊び #友達とのつながり合い #言葉のリズム
b	「きのこと研究所」～きのことの関わりを通して自ら力を発揮する～ 4歳児
	4歳児がきのことの関わりを通して、友達と遊ぶ楽しさや探求することの面白さを感じていきます。自然やものに関わり興味や関心を広げ、様々なことに気付いたり、不思議さを感じたりしている事例です。 #自然との関わり #人との関わり #保育者の援助・寄り添い方 #環境の在り方 #探求心
c	「大型ブロックで基地をつくろう」 ～友達との関わりを視点に幼児の体験を捉える～ 5歳児
	5歳児になり、自分たちで「基地をつくろう」と集まり、友だちと協力したり、考えを出し合ったりしながら、大きな基地をつくっていく遊びの事例です。 #大型ブロックあそび #イメージの共有 #達成感 #心の葛藤や折り合い #言葉のリズム #協同性
d	「おばけやしきをつくろう」～同じ目的に向かって役割を分担して遊ぶ～ 5歳児
	おばけやしきをつくろうと5歳児が奮闘します。同じ目的に向かって協力し合い、連携を図りながら試行錯誤をくり返し、遊びを完成させていく事例です。 #試行錯誤 #目的の共有 #役割分担 #遊びが広がる #協同性
e	「カエルがほしい」～子どもの心の動きを感じてみよう～ 4・5歳児
	カエルがほしくてたまらない4歳児が、5歳児に頼んだり、自分で見つけようとしたりしましたが、とうとう片付けの時間になってしまいました。子どもの心の動きや状況をじっくりと追った事例です。 #自然との関わり #異年齢の関わり #心の葛藤 #折り合い #友達との関わり
f	「落ち葉の魚・虫のひろば・セミの世界」 ～長期の視点で育ちを捉えてみよう～ 3～5歳児
	周囲の様子を見て過ごすことの多かった子どもが、遊びを通して興味や関心を広げ、友達との関わりが変容していきました。1人の子どもの3歳から5歳までを追った事例です。 #自然との関わり #友達との関わり #異年齢との関わり #興味の変容 #探究心 #文字への興味や関心

【A】DVD を活用した園内研修用ワークシート

<エピソードの欄>

「これは大事な姿かもしれない」と思った子どもの姿や気付いたことを、考察などは入れずに事実のみを書きます。

<幼児の体験を捉えるの欄>

「幼児の体験の捉え 2020」を見て、「エピソード」に記録したものが、どの体験に繋がっているかを書きます。一つのエピソードが、複数の体験に繋がる場合もあります。

エピソード	幼児の体験を捉える

<研修の進め方>

研修前にすること

- ①園内研修リーダー（園長、主任など）は、DVDに収録されているa～fの中から、研修する動画を選びます。（◎講義の視聴は必須です）

園内研修用DVDの構成

- | | |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| ◎ 講義「遊びを通した幼児の学び」（34分） | <u>研修の中で視聴してください</u> |
| a 幼児理解「みんなでせんたくゴシゴシ」（10分） | } <u>研修に使用する
動画を選んでくだ
さい</u> |
| b 幼児理解「きのこ研究所」（7分） | |
| c 幼児理解「大型ブロックで基地をつくろう」（11分） | |
| d 幼児理解「おばけやしきをつくろう」（7分） | |
| e 幼児理解「カエルがほしい」（9分） | |
| f 幼児理解「落ち葉の魚・虫のひろば・セミの世界」（9分） | |

- ②選んだ動画の研修ガイダンスとワークシート、「幼児の体験の捉え 2020」を県幼児教育センターのホームページからダウンロードします。

DVDを活用した園内研修 URL（ダウンロードはこちら）

https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kekkon-nishin-shusan-kosodate/kosodateshien/manabukensyu/manabu_kensyu/

- ③園内研修リーダーは、事前に研修ガイダンスを読み、研修の流れを頭に入れ、動画を一時停止するところを確認しておきます。

研修時にすること

※全員揃って研修ができない場合は、参加できなかった方で別日に実施していただいて構いません。⑤については、研修するグループによって選択する動画が異なっても構いません。

- ④ 講義「遊びを通した幼児の学び」を視聴してください。
- ⑤ 研修ガイダンスとワークシート、「幼児の体験の捉え 2020」を配り、流れを全員で把握してから動画（a～fのうち一つ）を視聴してください。
- ⑥ 研修ガイダンスに沿って進めてください。

<DVD の借用方法>

1 申し込み

下記の園内研修用 DVD 貸出申請フォームに必要事項を入力して申し込んでください。貸出申請は研修予定日の 10 日前までにお願いします。

申請日から 1 週間以内に DVD が届きます。届かない場合は電話等でご連絡ください。

2 返却

研修が済んだら速やかに返却してください（遅くとも申請日から 1 か月後まで）。破損しないよう梱包してください。

※ DVD の貸出は令和 9 年 2 月末までです。

※ 申込み内容に修正がある場合は、必ず担当者に連絡後、再度申込みをお願いします。

※ 貸出料金は無料ですが、返却にかかる送料はご負担ください。

【DVD の申込先】

園内研修用 DVD 貸出申請フォームURL

<https://forms.office.com/r/pyFtLmqpHD>

二次元コード



【DVD の返却先】

〒850-8570

長崎県長崎市尾上町 3 番 1 号

長崎県庁 長崎県こども政策局 こども未来課内

長崎県幼児教育センター 宛

【お問い合わせ】 095-895-2686（担当：小林）

B 自園の保育についての事例カンファレンス

「事例カンファレンス」とは、普段の保育の中で、心にとまった場면을記録し、それをみんなで共有し、協議することです。子ども理解や保育者の援助の在り方について、園全体で協議するのは保育の質の向上にとっても有効です。

研修の流れ

①事例をとる

②事例について説明する

③協議をする

①は園内研修日の前日までに30分程度時間を確保して、個人で写真や記録の整理をします。

②と③を合わせて60分程度園内研修をします。一つの事例について15分や20分と時間を決めておくとスムーズです。人数が多い場合は、グループに分かれて協議をするという方法もあります。

①事例をとる

★ 記録の仕方は・・・

写真にとる方法、後から文字で整理する方法などがあります。やりやすい方法を園で決めてください。

★ 「心にとまった場面」とは、例えば・・・

- ・子どもについて発見があり、他の人に伝えたいと思った場面
- ・子どもが生き生きと遊び、保育が盛り上がった場面
- ・行った環境構成や援助が、予想と違う展開をした場面
- ・子ども同士がよく関わり合っている場面
- ・保育についてアドバイスがほしい場面

「心にとまる」ということは「保育者の心が動く」ということで、そこには、何らかの意味があります。きまりはありません。自分の心が動いた場面を記録すればいいのです。うまくいった例だけでなく、うまくいかなかった例、援助に迷った例にも価値があります。

②事例について説明する

- ★ 事例（写真や記録）について、その場面の前後の流れや、自分が考えたことなどを説明します。

③協議をする

- ★ 事例について、他の人は気づきを言ったり、質問をしたりします。子どもの見方を他の視点から考えたり、環境構成や援助のよさを明確にしたり、他の方法に気付いたりすることができます。
- ★ テーマを決めて・・・
どんな場面を捉えても事例カンファレンスではありますが、例えば、園でテーマを決めて深めるという方法もあります。
例えば「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」「友達との関わり」「自然との関わり」「伝え合い」「自己発揮」「挑戦」「トラブルによる育ち」「自己肯定感」「子どもの主体性を引き出す環境構成」「思考力の芽生え」など、いろいろあります。園全体で伸ばしたいところや深めたいところを１年間通して追究していくのもおもしろいですよ。



C 特別支援教育の動画を活用した園内研修

インターネットによる講義配信 N I S E 学びラボ 特別支援教育 e ラーニング	
★専用ホームページから利用申請が必要です。(申請方法は 13～15 ページに記載)	
動画 2 本視聴 (約 40～50 分) 個人ワーク 10 分～ 協議 20 分～	
講義内容と時間 ① 幼児期における特別支援教育の考え方 (32 分) ② 幼児期の具体的な関わり方の実際 (25 分) ③ 幼児期の子どもをもつ保護者とのかかわり (22 分) ④ 幼児期の関係機関との連携 (20 分) ⑤ 幼児期の個別の指導計画の作成と活用 (20 分)	
準備する物：講義資料 (N I S E 学びラボのホームページからダウンロード) 【C】園内研修用のワークシート (県のホームページからダウンロード)	
配信講義動画	補足
▶動画スタート ○聞き逃しや再度確認したいことがあった場合には、画面のスライドを確認しながら、早戻しして再生できます。 ▶動画終了	＊ワークシートにメモをしながら動画を視聴します。 (メモの視点) ・ 自園で共通理解を図りたいこと ・ 自園でも取り入れたい実践例について ・ 動画の内容で協議したい話題 等 <グループワークまたは全体> それぞれの捉えを話し合い、園における共通理解や共通実践を確認しましょう。 また、特別支援教育に係る日頃の疑問や悩みを出し合い、子ども、保護者への適切な支援の在り方について一人一人の考えを深めましょう。

【C】特別支援教育の動画を活用した園内研修用ワークシート

＜動画視聴のメモ＞

自園で共通理解を図りたいこと、自園でも取り入れたい実践例、動画の内容で協議したい話題等をメモします。

＜協議内容メモ＞

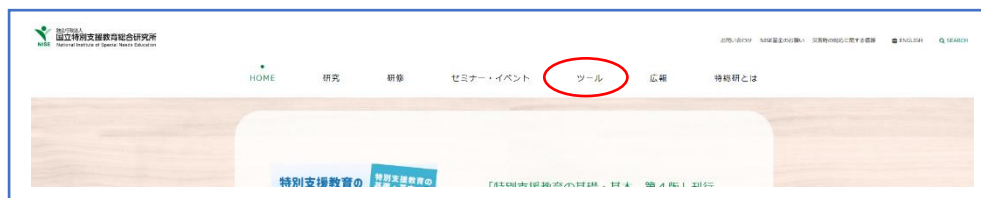
全員で共通理解したことや共通実践の内容などについて、話し合ったことをメモします。

動画視聴メモ	協議内容メモ

<利用申請の方法>

国立特別支援教育総合研究所ホームページを検索します。
以下、図の ツール をクリックして進めましょう。

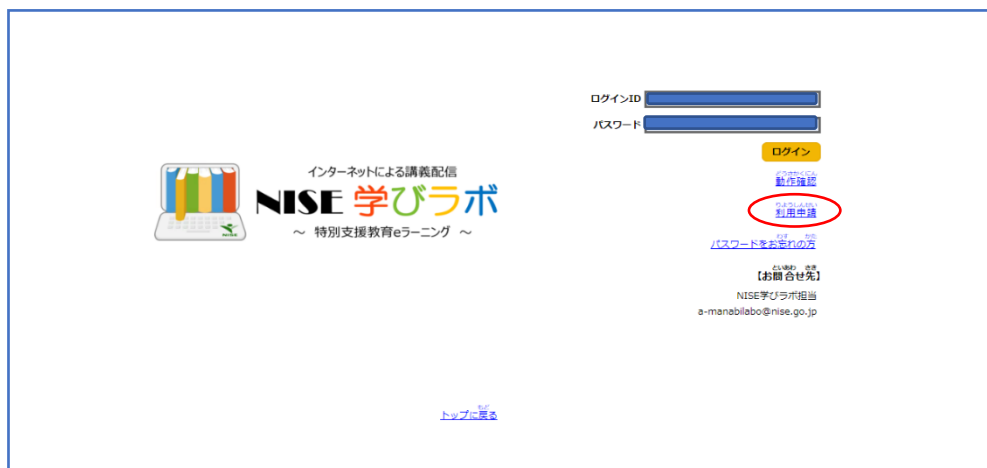
(1 枚目)



(2 枚目)



(3 枚目)



(4 枚目)

りようきやく どうい かくにん
利用規約へ同意のご確認

利用申請をする際には「利用規約」への同意が必要です。
以下の内容をご確認の上、ご同意いただける場合にのみ「同意」ボタンをクリックして次の画面へお進みください。

～「NISE学びラボ」利用規約～

(定義)
第1条
「インターネットによる遠隔配信、NISE学びラボへ特別支援教育のラーニング」(以下、NISE学びラボという。)とは、
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(以下「協 研究所」という。)が、各都道府県等において障害のある児童生徒等の教育に携わる
教 員の資質向上を図る取組を支援するために実施する遠隔コンテンツの配信サービスを行います。

(ユーザー登録)
第2条
NISE学びラボを視聴したい場合は、事前に利用申請の手続きを行うものとします。利用は無料です。

(ユーザーID及びパスワード)
第3条
当 研 究 所 は、申 込 (回 休 申 請、個人申請を受理した者(以下「登録者」という。))に対して、ログインID及びパスワードを発行します。

☐ 利用規約を確認しました

動作確認

☐ 「動作確認」から、正 常に受講できることを確認しました

どうい 同意しない

どうい 同意する

ログイン画面に戻る

利用規約を確認し、☒を入れる。

動作確認を行い、左に☒を入れる。

最後に、「同意する」をクリック

(5 枚目)

りようしんせい
利用申請

ごしんちうしうごめ
個人申込

だんたいちうしうごめ
団体申込

個人申込を選択する。

ログイン画面に戻る

にしんもうしこみ
個人申込

しんせう
所属 *

しめい
氏名 *

しうねんげつ
生年月日 * yyyy/mm/dd

メールアドレ
メールアドレス *

メールアドレ
メールアドレス (確認) *

しゅうとく
郵送時期 *

しちふ
自治体 *

しやく
役職 *

コメント

へ
戻る

かしこ
確認

ログイン画面に戻る

いずれかの申込ページに必要な事項を入力して確認ボタンを押す。

※確認ボタンを押すと、仮申請のページに移動する。記載内容に誤りがないか確認して、仮申請を行う。

<その後の作業>

「NISE 学びラボ」申請確定のお願いというメールが、仮申請の際に登録したメールアドレスに届く。メール内に示されたリンクにアクセスし、確認ボタンを押して、申請を完了する。

「NISE 学びラボ」利用申請承認のお知らせというメールが、利用申請の際に登録したメールアドレスに届き、割当られたユーザーIDでURLから、ログイン操作の確認を行う。

※初期パスワードは申請時のメールアドレスが設定されているため、初回ログイン時にパスワードの変更を行う。



これで利用申請完了！早速、研修コンテンツをのぞいてみよう！

<実際の利用方法>

P I 3 の利用申請の（3 枚目）までは同じ処理をします。

（4 枚目）

ログインIDと自身で変更したパスワードを入力する。

インターネットによる講義配信
NISE 学びラボ
～ 特別支援教育eラーニング ～

ログインID
パスワード
ログイン

[動作確認](#)
[利用申請](#)
[パスワードを忘れた方](#)

【お問い合わせ先】
NISE学びラボ担当
a-manabirabo@nise.go.jp

[トップに戻る](#)

（5 枚目）

NISE 学びラボ 本文へ

文字サイズ 表示色 ありがな

ホーム ユーザー設定 ログアウト

お知らせ 研修プログラム

コンテンツ一覧 受講状況

[トップに戻る](#)

（6 枚目）

NISE 学びラボ 本文へ

文字サイズ 表示色 ありがな

ホーム ユーザー設定 ログアウト

受講一覧

【NISE学びラボ】 特別支援教育eラーニング

【NISE学びラボ】 障害種別の専門性

【NISE学びラボ】 遠隔の手続きにおける学びの困難さに応じた指導

【NISE学びラボ】 英語版コンテンツ

ホームに戻る

[トップに戻る](#)

(7枚目)

The screenshot shows the NISE Learning Lab interface. At the top, there is a header with the NISE logo, a '本文へ' (Back to Text) button, and settings for text size (小, 中, 大) and display color (標準, 1, 2). Below the header is a navigation bar with 'ホーム' (Home), 'ユーザー設定' (User Settings), and 'ログアウト' (Logout) buttons. The main content area is titled '受講一覧' (Course List) and shows a list of courses. The course '幼児期における特別支援教育' (Special Support Education in Early Childhood) is highlighted with a red oval. Below the list is a '分類選択に戻る' (Return to Category Selection) button and a 'トップに戻る' (Return to Top) link.

(8枚目)

The screenshot shows the NISE Learning Lab interface, specifically the content selection screen. The '幼児期における特別支援教育' (Special Support Education in Early Childhood) course is selected. Below the course name, there is a list of content items. A red bracket and a green callout box point to this list, indicating that the user can select from these options. The callout box contains the text 'ここから選択' (Select from here). Below the list is a 'コース選択に戻る' (Return to Course Selection) button and a '分類選択に戻る' (Return to Category Selection) link.

D 外国園児の受入れに関する動画を活用した園内研修

動画 本視聴（約 30～37 分） グループワーク 25 分～ テキスト 5 分～
講義内容と時間 ① 基礎理論研修：言語・文化的に多様な背景を持つ子どもたちが共に過ごせる保育（36 分） ② テーマ別研修：多文化共生の学級経営～多様性を受け止め、育ち合う学級づくり～（30 分） ③ テーマ別研修：入園受入れ時の対応と保護者支援（37 分） ④ テーマ別研修：外国人幼児等の言葉を育む～学校での生活や学習を意識して～（34 分） ⑤ テーマ別研修：実践事例から学ぶ園の特性に応じた保育～園の実情に即した活用に向けて～（36 分）
内容構成 どの講義も以下の 4 つの内容で構成されています。 ① 動画、スライド資料（実際の研修時間に視聴） ② テキスト（スライドと説明がテキスト形式になっているので、できれば参加者分印刷する） ③ 園内研修実施ガイド（研修を進める人の台本） ④ 園内研修ワークシート（事前に参加者分印刷をする）
事前準備 ① 全国幼児教育研究協会作成の研修プログラムを活用するため下のアドレスにアクセスする。 調査研究 - 公益社団法人 全国幼児教育研究協会 ② 園内研修リーダーは、ページを下にスクロールし、「令和 4 年度資料 外国人幼児等の受け入れに関する園内研修パッケージ」から「リーフレット（PDF）」「園内研修を進めるにあたって（PDF）」を熟読し、進め方を知る。 ③ 「基礎理論研修」または「テーマ別研修」から内容を選ぶ。 ④ 必要な資料をダウンロード及び印刷をする。
進め方 園内研修リーダーは、動画視聴、グループワーク、テキストの順番を組み立てる。 （組み立て方は自由） <例> A 動画視聴→グループワーク→テキスト B テキスト→動画視聴→グループワーク C グループワーク→動画→テキスト

(2) 幼児教育アドバイザーの派遣を受けて実施する園内研修

【要件を満たす研修テーマ】

A 虐待防止、B 保育についての助言、C 園内研修の充実

※Cを選ぶ場合は、P22Q1を参照し、要件を満たしているか確認する。

【訪問までの手順】

① 県幼児教育センターのホームページから、訪問依頼書をダウンロードする。

<https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-609255.html>

② 希望する研修のテーマ、希望の日時を記載し、メールで申し込む。

施設種別	公立幼稚園（公立幼稚園型認定こども園含む） 公私立幼保連携型認定こども園 公私立保育所（保育所型認定こども園含む） 中核市認可外保育施設	私立幼稚園（私立幼稚園型認定こども園含む） 認可外保育施設（中核市以外）
提出先	施設所在市町	県幼児教育センター

③ 受付後、提出先から、電話等で日程調整がある。

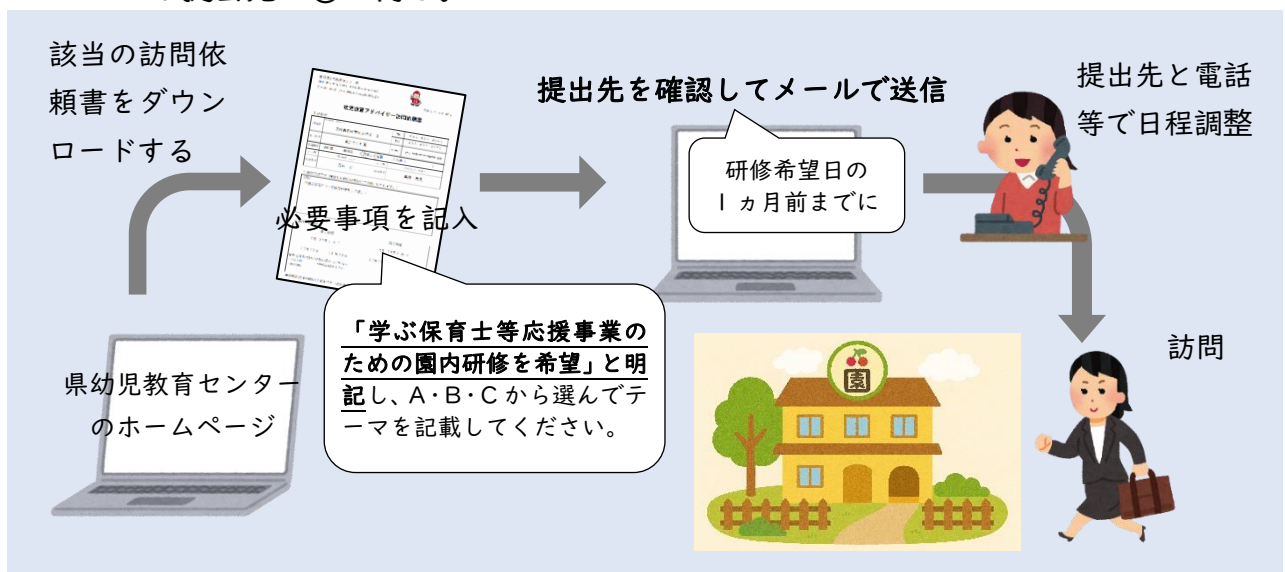
④ 訪問日時が決まったら、幼児教育アドバイザー等が園を訪問し、園内研修を実施する。

★職員全員が参加できない場合は、園内研修の様子を録画したものを後日視聴することで研修に参加したとみなします。

【訪問後について】

⑤ 研修修了後、「幼児教育アドバイザー利用アンケート」と「訪問支援後感想」を提出する。（補助金の実施報告書の下段の記載は省略できます。）

※提出先は②に同じ。



(3) 県又は施設所在市町が実施し県が指定する園外研修を受講した保育士等が、その内容を園内で保育士等に伝達するために実施する研修

対象となる研修は県ホームページでご確認ください。

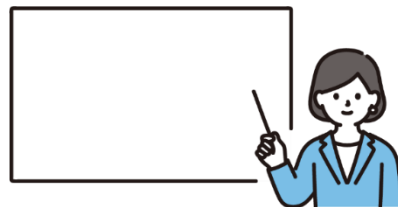
「長崎県学ぶ保育士等応援事業」＜研修＞ - 長崎県ホームページ

<実施方法>

- 1 研修に参加した者が、配布された資料等をもとに研修内容を要約し、20 分程度で園内研修参加者に伝達（講義）してください。

※事前に資料配布しておいても良いですが、研修時に必ず口頭で伝達する時間を設けてください。（約 20 分）

※講義の聞いてのポイント、学び、
気づきも含めて



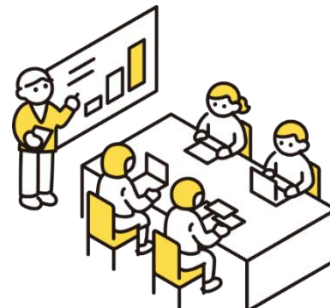
- 2 研修時に、グループワークや個人ワークで出された問い（課題）を、同様に自園の保育士等でも実施してください。研修時に出されたワークが 2 問以上ある場合は、そのうち 2 問程度を選択して、園内でも同じように実施してください。
（ワーク 30 分＋発表 10 分）

※外部研修で実施したワーク・実習が
自園に合わない場合は、アレンジして



- 3 ワークで出された意見を参加者で共有し、意見交換してください。また、園内研修時に出された意見を紹介することや、研修時に講師が最後にまとめた内容を同様に伝達し、研修のまとめを行ってください。（10 分）

※自園の実践にどう活かしていくかみなさんで
話し合いましょう



研修内容の伝達かつ参加者同士の意見交換が必須条件です。

3 研修が終了したら

(1) 研修実施報告書の作成

別表 4 園内研修実施 計画・報告 書					
施設名	こども未来幼稚園			施設種別	私立幼稚園
市町名	長崎市	園長名	こども未来子	記入者名	
幼児教育アドバイザー派遣（希望）				有	無
在籍保育者一覧					
職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
1 主幹教諭	長崎 花子	11 教諭		21 教諭	
2 副主幹教諭	佐世保 太郎	12 教諭		22	
3 教諭	島原 次子	13 教諭		23	
4 教諭		14 教諭		24	
5 教諭		15 教諭		25	
6 教諭		16 教諭		26	
7 教諭		17 教諭		27	
8 教諭		18 教諭		28	
9 教諭		19 教諭		29	
10 教諭		20 教諭		30	
				在籍保育者数	21名
実施報告時は以下も記載してください。					
研修要件番号	(1)	研修テーマ	○○○		
研修日時（複数回実施した場合は複数記載してください）	8/10, 8/17		研修受講者数	20名	
未受講者の対応	後日研修資料と当日出た意見を配布し、個別に意見を提出してもらった。				
※幼児教育アドバイザー派遣を受けて園内研修を実施した場合は、以下の欄の記載は不要です。					
保育者から出た 主な意見等 (2,3項目を抜粋し て記載してくださ い)	・○○○ ・××× ・△△△				
研修後所感 (研修を主導した人 が記載してくださ い)					

(2) 研修参加者個人アンケート（スマホ等で各自入力）

実施後 7 日以内（県幼児教育アドバイザー訪問支援の録画視聴をする場合は視聴後）に、以下の URL から、各自入力するよう周知してください。

（手当支給と連動しているものではありません。手当等は別途園から支給されます）



<https://forms.office.com/r/22rTiDTan5>

令和 8 年度長崎県学童保育士等応援
事業 園内研修実施後アンケート



4 学ぶ保育士等応援事業補助金 園内研修関係Q & A

Q 1 研修は、従来から園で行っているが、今までの研修はこの補助金の対象と
ならないのか。

A 1 各園で、研修を行い、保育の質の向上を図られていることは承知しているが、
更なる保育の質の向上を図るため、次の（１）から（３）のうち、いずれかの園内
研修等に取り組む施設を対象とします。

なお、園内研修等の実施にあたっては、保育士等全員が参加可能な方法により、
それぞれが主体的に考え、意見を出し合うワークショップ形式を取り入れた方式
で行うようにしてください。

（１）県が別に定めるテーマ及び内容で実施する園内研修

（２）幼児教育アドバイザー等の派遣を受けて実施する園内研修

（３）県又は施設所在市町が実施し、県が指定する園外研修を受講した保育士等
がその内容を園内で保育士等に伝達するために実施する研修

（※）P 19 に示している（２）C については、令和 8 年度から県と市町が連携して実施する
「園内研修リーダーの育成」に係る研修会に参加している園に限ります。

Q 2 幼児教育アドバイザー等の派遣を受けて実施する園内研修となっているが、
県の幼児教育アドバイザー以外では、どのような人を想定しているのか。

A 2 県設置の幼児教育アドバイザー以外に、市町が設置しているアドバイザーや
行政保育士、保育士支援アドバイザー（※１）、ECEQ コーディネーター（※２）な
ど幼児教育の専門知識があり、園内研修の支援ができる者を想定しているが、対
象となるか不明な場合は、県こども未来課へ問い合わせてください。

（※１）保育士支援アドバイザー：保育士や保育事業者等への巡回支援事業（保育対策総合支
援事業費補助金）における保育施設を巡回し保育の質向上に関する助言や支援する者

（※２）ECEQ コーディネーター：（一財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開発した ECE
（公開保育を活用した幼児教育の質向上システム）の実施をサポートする者

Q 3 具体的な研修のやり方がわからない場合は、どうしたらよいのか。

A 3 本ガイドブックに研修のやり方を解説していますが、ご不明な点については、
県こども未来課へお尋ねください。また、（２）の幼児教育アドバイザーの訪問支
援を受けて実施する園内研修であれば、その準備や実施についてはアドバイザー
が主導しますので、ご活用ください。

Q 4 複数回に分けて実施しても、当日急病などで、どうしても実施できなかった者には支給できないのか。

A 4 どうしても受講できなかった者については、研修当日出された意見も含め、研修内容を共有し、欠席者からも意見等を聴取(提出)いただくなどの方法で出来る限り受講者と同じ効果が出るように工夫していただければ、出席したこととしてみなし支給することが可能です。ご不明な点は、県こども未来課へ問い合わせてください。

Q 5 補助金申請前に、幼児教育アドバイザーの訪問支援を受けて園内研修を実施していた場合は、その園内研修を補助の要件としてもよいのか。

A 5 補助金を受ける年度の4月1日から3月31日までに実施した園内研修であれば、この補助金の交付要件を満たすことになりますので、例えば今年度7月に補助金を申請する場合、4～6月に要件を満たす園内研修(※)を実施していれば、補助金を受けることができます。

(※) 要件を満たす園内研修の詳細については、「園内研修ガイドブック」(本ガイドブック)に掲載することとしています。

Q 6 幼児教育アドバイザーの訪問依頼は2回目に同じ内容で実施してもらえるのか。

A 6 園内研修の様子を録画していただくことも可能ですので、1回目に参加できなかった職員は、後日、録画した動画を視聴することで研修に参加したとみなします。録画対応を行えば、2回依頼する必要はありません。

Q 7 要件を満たす研修時間のめやすはどのくらいか。

A 7 ワークショップを取り入れた内容で、70分～90分程度を想定しています。

Q 8 DVDの貸出期間を延長したいがどうすればよいのか。

A 8 電話でご相談ください。

Q 9 幼児教育アドバイザーの訪問を受けたときに、受講後に感想を提出したが、個人アンケートにも回答が必要か。

A 9 必要です。研修参加者個人アンケートには、本事業に係る設問が含まれているためです。

5 関係様式集

園内研修用DVDの貸出申込フォーム



1. 申込み者名 *

回答を入力してください

2. 役職名 *

- ☐ 園長、所長、施設長
- ☐ その他

3. 施設名（法人名等は除く。例：ココロ保育園） *

回答を入力してください

4. 施設種別 *

- ☐ 幼稚園（幼稚園型認定こども園含む）
- ☐ 幼保連携型認定こども園
- ☐ 保育所（保育所型認定こども園含む）
- ☐ 認可外保育施設
- ☐ その他

5. 施設連絡先（電話番号） *

回答を入力してください

6. 施設メールアドレス *

回答を入力してください

7. 施設の郵便番号 *

回答を入力してください

8. 施設の住所 *

回答を入力してください

9. 研修予定日（本日の申請から返却までが1か月以内の日。複数ある場合は最初の日を記入。） ※2～3か月先の予約等、不可。 *

回答を入力してください

10. その他・連絡事項（任意記入）

回答を入力してください

この部分は、提出先の宛先等が表示されます。



令和 年 月 日

幼児教育アドバイザー訪問依頼書

1 依頼者

所在地	〒		TEL	
			FAX	
園・所名			E-mail	
施設種別	幼稚園 保育所 認定こども園 その他()			
ふりがな			ふりがな	
代表者名		担当者	職位	氏名

2 訪問希望内容(※詳しい内容は電話にてお伺いいたします。)

--

3 訪問希望日時

第1希望	第2希望
月 日 ()	月 日 ()
時 分 ~ 時 分	時 分 ~ 時 分
※特に日時の指定がない場合はこちらへ	

※訪問希望日の約1か月前までを目途にお申し込みください。

研修参加者個人アンケートフォーム

令和8年度長崎県学ぶ保育士等応援事業 園内研修実施後アンケート

このアンケートは、長崎県学ぶ保育士等応援事業補助金の要件となっている園内研修を受講した方へのアンケート調査です。本事業は、園内研修の実施により保育者がお互いの専門性を高めるとともに、保育の魅力ややりがいを再認識していただくことを目的に実施しています。今後の事業に活かしていきますので、アンケートへのご協力をお願いします。

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

設問 1 あなたについてお答えください

1. あなたが勤務している施設の種別は *

- ☐ 保育所
- ☐ 幼稚園
- ☐ 幼保連携型認定こども園
- ☐ 保育所型認定こども園
- ☐ 幼稚園型認定こども園
- ☐ 地域型保育事業所（小規模保育等）
- ☐ 認可外保育施設
- ☐ その他

2. あなたが勤務している施設名を回答してください（法人名は省略してください） *

回答を入力してください

3. あなたの雇用（勤務）形態を教えてください

- ☐ 正規職員（フルタイム）
- ☐ 非正規職員（フルタイム）
- ☐ 非正規職員（パートタイム）
- ☐ その他

4. あなたの保育士等としての勤務経験年数を教えてください（他園での経験も含めてください）

- ☐ 1～5年目
- ☐ 6～10年目
- ☐ 11～15年目
- ☐ 16～20年目
- ☐ 21年目以上

★研修の受講後7日以内に、受講者全員がスマホ又はパソコンから入力してください！



6 関係手続き・様式ダウンロード先一覧

	ダウンロードするもの	URL 等
(1) A	DVD を活用した園内研修 研修ガイダンス・ワークシート	「長崎県学ぶ保育士等応援事業」＜研修＞ - 長崎県ホームページ https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kekkon-nishin-shusan-kosodate/kosodateshien/manabukensyu/manabu_kensyu/
	DVD の貸出申込フォーム	https://forms.office.com/r/pyFtLmqpHD
(1) C	特別支援教育研修用動画	講義配信 N I S E 学びラボ NISE 学びラボ - 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online
	特別支援教育用ワークシート	「長崎県学ぶ保育士等応援事業」＜研修＞ - 長崎県ホームページ https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kekkon-nishin-shusan-kosodate/kosodateshien/manabukensyu/manabu_kensyu/
(1) D	外国園児の受け入れに関する研修用動画・スライド・研修ガイド・ワークシート	(公益社団法人) 全国幼児教育研究協会 調査研究 - 公益社団法人 全国幼児教育研究協会 https://zenyoken.org/survey/research/
(2)	幼児教育アドバイザー 訪問依頼書	長崎県公式 HP (長崎県幼児教育センター) 幼児教育アドバイザーによる支援(長崎県幼児教育センター) - 長崎県ホームページ
	幼児教育アドバイザー 利用アンケート	https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-609255.html
共通	研修参加者個人アンケート	https://forms.office.com/r/22rTiDTan5 



このガイダンスを活用いただき、各園・所における
園内研修がますます充実することを願っております。
すべては、長崎県に生きる子どもの幸せのために。



《長崎県のめざす乳幼児期の子ども像》

生きるねっこの丈夫な子

